

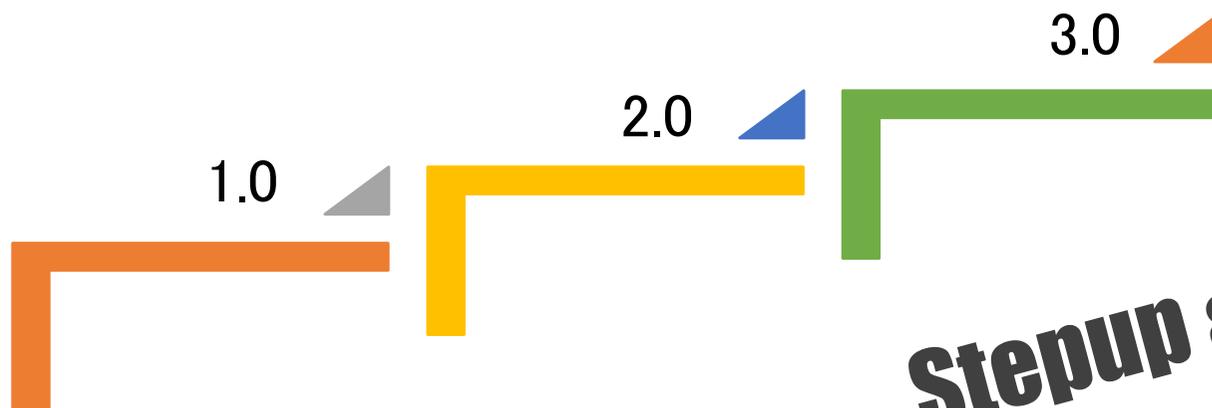
令和2年度

第3弾（補正第6号）

# 新型コロナウイルス感染症緊急対策

コロナ後へ向けた 新ことうら創造プロジェクト

～ 町民の「暮らし」を守り、「地域経済」を支え、「新しい町民生活」へ変革 ～



**Stepup & Change!**

 琴浦町

# 目次・事業費一覧

○目次（事業費一覧）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1～2

○新型コロナウイルス感染症緊急対策【第3弾】の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

◆事業費一覧（1/2）

（単位：千円）

対策の柱	No	事業名	担当課	事業費	ページ番号	備考
①感染防止対策	1	感染症予防対策事業	総務課	919	4	拡充
	2	避難所環境整備事業	総務課	695	5	拡充
②町民生活支援	3	未来のことうらっ子応援事業 【第2弾】	子育て応援課	12,000	6	拡充
	4	ことうら大学生等応援事業 【第2弾】	企画政策課	45,000	7	拡充
	5	コロナからの復興エール！文化芸術活動再開応援事業	社会教育課	500	8	
	6	プレミアム付ことうら商品券発行事業	商工観光課	21,000	-	拡充
	7	紙媒体による新型コロナウイルス対応支援策等周知事業	企画政策課	284	-	
	8	ひとり親世帯臨時特別給付金支給事業 [国制度]	福祉あんしん課	12,436	9	
③地域経済対策	9	建築業応援！住宅の修繕・改修助成事業	建設環境課	10,000	10	
	10	医療・介護施設等事業継続支援事業	すこやか健康課	7,400	11	
	11	障がい者とともに！地域共生型プラスチック再生事業	福祉あんしん課 建設環境課	1,203	12	
	12	肉用牛肥育経営緊急支援事業	農林水産課	18,416	13	拡充
	13	新型コロナウイルス対策特別金融支援利子補給事業	商工観光課	66,010	-	拡充
	14	中部ふるさと広域連合負担金 (感染症対応休日急患診療所運営、広域連合執務室改善)	総務課	971	-	

◆事業費一覧 (2/2)

(単位：千円)

対策の柱	No	事業名	担当課	事業費	ページ番号	備考
④コロナ後へ 新たな変革	15	新事業創出応援事業	商工観光課	3,000	14	
	16	町民と考える持続可能な地域交通事業	企画政策課	4,120	15	
	17	お外で遊ぼう！こども園遊具設置事業	子育て応援課	4,300	16	
	18	コロナ後の社会に対応したまなびタウンリニューアル事業	社会教育課	16,000	17	
	19	G I G A スクール構想推進事業	教育総務課	2,980	18	拡充
	20	学校保健特別対策事業	教育総務課	7,000	18	
	21	こども園 I C T システム導入モデル事業	子育て応援課	5,623	19	
	22	公共施設Wi-Fi環境整備事業	総務課	24,348	20	
	23	I C タグ導入によるスマート図書館整備事業	社会教育課	64,350	21	
	24	新型コロナウイルスから考える人権教育・啓発事業	人権・同和教育課	200	22	
	25	ことうら「旅」と「食」魅力発信プロジェクト	企画政策課 商工観光課	60,000	23	
	26	コロナ後の観光振興事業	商工観光課	22,250	24	
対策の柱①～④ 合計				411,005		

## 【新型コロナ対策第3弾】

# コロナ後へ向けた 新ことうら創造プロジェクト

～ 町民の「暮らし」を守り、「地域経済」を支え、「新しい町民生活」へ変革～

## ○対策の4つの柱

### ①感染防止対策

感染防止、臨時休校対応 等

### ②町民生活支援

町民の家計、生活、自粛した活動  
の再開支援 等

### ③地域経済対策

官民を挙げた経済活動の回復

### ④コロナ後へ新たな変革

GIGAスクール、ICT技術導入、  
働き方改革 等

#### 第1弾

対策経費：17億8,923万1千円

迅速に感染防止対策を実施するとともに、町民の家計、飲食店等を守るため緊急的な対策を予算化

##### ◆4/22臨時議会 17億6,510万円

- 感染防止対策(消毒液等購入) ○飲食店等応援キャンペーン
- 新型コロナウイルス対策特別金融支援利子補給事業
- 特別定額給付金事業(国制度)

##### ◆5/11専決処分・予備費対応 2,413万1千円

- ことうら産品で巣ごもり応援事業 ○臨時休校昼食提供事業
- 子育て世帯への臨時特別給付金事業(国制度)

#### 第2弾

対策経費：1億4,744万2千円

国の支援制度を踏まえた上で、琴浦町の実情を調査し、必要とされる各方面へ町独自にきめ細かな支援策を予算化

##### ◆5/29臨時議会

- ことうら大学生等応援事業
- 未来のことうらっ子応援事業
- 木のおもちゃで親子リフレッシュ事業
- ひとり親家庭を応援！ことうら商品券配布事業
- プレミアム付ことうら商品券発行事業
- GIGAスクール構想整備・推進事業 等

##### ◆6月定例議会等

- 国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料の減免
- 町税、公共料金(上水・下水)の支払猶予
- 国民健康保険税の税率改定の見送り

#### 第3弾

対策経費：4億1,100万5千円 7/22臨時議会

臨時交付金の2次配分を受け、今後の感染防止対策に加え、町独自のきめ細かな町民生活の支援、地域経済の回復に必要な支援策を講じるとともに、町民・行政の新たな変革に取り組むための経費を予算計化

##### ①感染防止対策 1,614千円

- 感染予防対策事業(拡充) ○避難所環境整備事業(拡充)

##### ②町民生活支援 91,220千円

- 未来のことうらっ子応援事業【第2弾】 ○ことうら大学生等応援事業【第2弾】
- プレミアム付ことうら商品券発行事業(拡充) ○コロナからの復興エール！文化芸術活動再開応援事業
- 紙媒体による新型コロナウイルス対策等周知事業 ○ひとり親世帯臨時特別給付金支給事業【国制度】

##### ③地域経済対策 104,000千円

- 建築業応援！住宅の修繕・改修助成事業 ○医療・介護施設等事業継続支援事業
- 障がい者とともに！地域共生型プラスチック再生事業 ○肉用牛肥育経営緊急支援事業(拡充)
- 新型コロナウイルス対策特別金融支援利子補給事業(拡充)
- 中部ふるさと広域連合負担金(感染症対応休日急患診療所運営、広域連合執務室改善)

##### ④コロナ後へ新たな変革 214,171千円

- 新事業創出応援事業 ○町民と考える持続可能な地域交通事業
- お外で遊ぼう！こども園遊具設置事業 ○コロナ後の社会に対応したまなびタウンリニューアル事業
- GIGAスクール構想推進事業(拡充) ○学校保健特別対策事業
- こども園ICTシステム導入モデル事業 ○公共施設公衆用Wi-Fi整備事業
- 新型コロナウイルスから考える人権教育・啓発事業 ○ICTタグ導入によるスマート図書館整備事業
- ことうら「旅」と「食」魅力発信プロジェクト ○コロナ後の観光振興事業

※対策経費には、予備費などの対策経費と関連のない予算額を除いているため、予算額と一致しません。

# (1) 感染症予防対策事業

事業費：919千円

【総務課】

## ①飛沫対策防止シールド設置

〔現在〕ビニールシート等に対応



〔効果〕感染拡大防止策と  
窓口イメージアップの両立



〔設置場所・数〕

場所	数(台)
本庁舎	32
分庁舎	21
まなびタウン	5
日韓資料館等	2
計	60

〔予算〕

6,000円 × 60台 × 1.1 = 396,000円

## ②プライバシーブース設置

〔イメージ〕

現在のローカウンターにL字型・I型の間仕切りを追加して、ブース状にする。

※実物は1人用を予定



〔効果〕

- ・感染拡大防止(周囲を覆う)
- ・相談者のプライバシー保護

〔設置場所・数〕

福祉あんしん課カウンター 1基

〔予算〕

475,000円 × 1台 × 1.1 = 522,500円

## (2) 避難所環境整備事業

事業費：695千円

【総務課】

### 【背景・課題】

- 出水期を迎え、大雨、台風等の影響により、今後、避難所の開設機会の増加が予想される。
- これまでの避難所運営では和室を主に利用していたが、新型コロナウイルス感染症対策として「3密」を避けるため、体調不良者は和室やプライベントテントを優先利用し、それ以外の避難者は会議室を利用して避難所運営を行う計画である。
- しかし、会議室の床は固く、床に座ったりすることが避難者の負担になるため、環境の改善が必要である。

### 【事業概要】

避難者の負担を軽減するため、開設機会が多い避難所の会議室床に敷くマットを購入し、避難所における新型コロナウイルス感染症拡大防止を図る。

### 【設置場所】

古布庄公民館、以西地区公民館、成美地区公民館、保健センター、琴浦町役場分庁舎

避難所名等	収容人員	必要数
古布庄地区公民館 会議室	27人	42セット
以西地区公民館 2階大研修室	39人	61セット
成美地区公民館 1階会議室	19人	30セット
保健センター 2階大会議室	51人	27セット
琴浦町役場分庁舎 2階イベントホール	53人	83セット
合計	189人	243セット

※ 1人あたりの面積を2.52㎡とし、1枚の面積を0.09㎡(0.3m×0.3m)で計算

### 【事業費】

@2,860円 × 243セット = 694,980円

### 【設置イメージ】



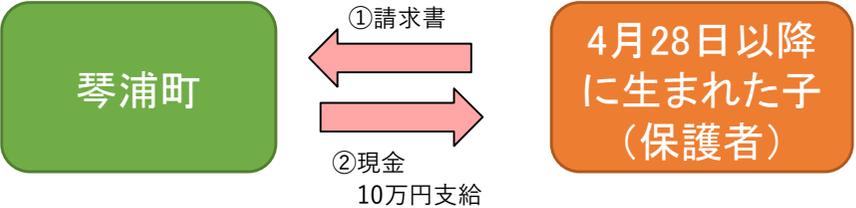
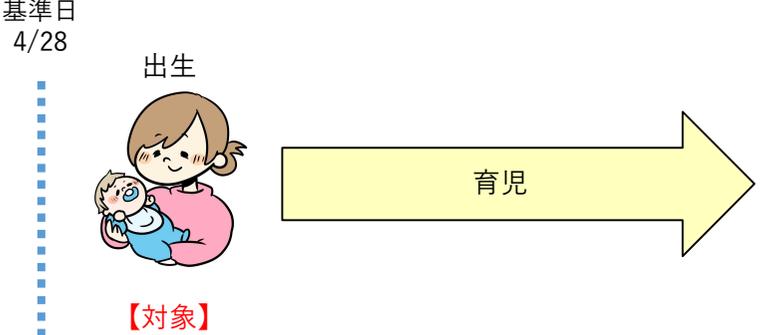
古布庄地区公民館

# (3) 未来のことうらっ子応援事業 【第2弾】

～赤ちゃん万歳！！生まれてきてくれてありがとう～

事業費：12,000千円

【子育て応援課】

事業の内容	事業イメージ
<p><b>(1) 事業目的</b> 特別定額給付金事業(国)の対象とならない4/28以降に生まれる子どもに対し、現金10万円を支給し、コロナ禍において安心して子育てを行うための生活基盤を整える一助とする。</p> <p><b>【背景】</b> ○コロナ禍での育児となり、感染予防や外出自粛制限等による精神的・経済的負担の増大がある。</p> <p><b>(2) 対象者</b> 令和2年4月28日から令和3年3月31日までに生まれた子</p> <p><b>(3) 支援内容</b> 現金10万円</p> <p><b>(4) 事業費 12,000千円</b> 交付金：120人×100千円 = 12,000千円</p>	<p><b>(1) 交付イメージ</b></p>  <p>琴浦町</p> <p>①請求書</p> <p>②現金 10万円支給</p> <p>4月28日以降に生まれた子 (保護者)</p> <p><b>(2) 対象者イメージ図</b></p>  <p>基準日 4/28</p> <p>出生</p> <p>育児</p> <p>【対象】</p>

## (4) ことうら大学生等応援事業【第2弾】 事業費：45,000千円 【企画政策課】

【目的】 新型コロナウイルスの影響による保護者世帯の収入やアルバイト収入の減など、経済的な影響を受けている町出身の大学生等へ支援金を交付し、経済的な不安を緩和することにより安心して学業に専念できるようにする。

【内容】 町出身の大学生等に支援金を給付する。町内在住5万円、町外在住10万円

【対象者】 琴浦町出身の高校卒業から20歳代の学生（文科省所管の高等教育機関在学）  
大学院、4年制大学、短大、専修学校（専門課程）、高等専門学校（4年生以上）等  
650人（19～22歳）×70%（進学率）≒450人

【申請方法】 郵便または持参により書類を提出。保護者からの申請も可。  
ただし、支援金の振込先は学生本人名義の口座とする。

【提出書類】 申請書兼請求書、口座確認書類、在学を証明する書類、  
町外在住の実態が確認できる書類（賃貸契約書、住民票の写し、電気代等の領収書等）

【その他】  
・申請者は町のメーリングリストに登録する。（Eメール便で作成したものに追加）  
・申請書兼請求書の裏面をリターンや就職、町への提言/要望などを書いてもらうアンケートとする。  
（内容は学生、保護者共通のものとする）  
アンケート内容は申請者にフィードバックする。

【要求額】 支援金 100千円×450人=45,000千円

【実施イメージ】



## (5) コロナからの復興エール！文化芸術活動再開応援事業

事業費：500千円 【社会教育課】

### 【背景】

- 新型コロナウイルス感染症の影響による活動者の活動自粛や町民が文化芸術に触れる機会の喪失  
→琴浦町の文化芸術振興、ならびに文化芸術団体の衰退が懸念される  
※文化芸術は心の豊かさ、国民生活及び活力ある社会の実現に必要な

### 【事業目的・内容】

- 新型コロナウイルス感染症における文化芸術活動自粛による鬱積ムード払拭。
- 活動者の活動再開に向けた新しい活動環境の整備（活動継続支援）  
→今の練習会場以上の広い会場を整備することで、3密等の対策を行う
- 合唱フェスティバル、芸能発表会等の開催支援（活動発表支援）

### 【方法】

- 3密対策を講じるための新しい活動環境として生涯学習センター等の提供  
・活動者が生涯学習センター等で活動する場合の減免

### 【期待される効果】

- 文化芸術団体の活動再開の促進

【事業費】 500千円（会場利用料減免）



## (8) ひとり親世帯臨時特別給付金支給事業〔国制度〕

事業費：12,436千円 【福祉あんしん課】

新型コロナウイルス感染症の影響により生活に大きな困難が生じているひとり親世帯に対して、子育ての負担や収入の減少に対する支援を行うため臨時特別給付金を支給する。

### ○対象者 186世帯(275人)

- ①令和2年6月分の児童扶養手当受給者 150人 ※第2子以降 83人
- ②公的年金受給者(障害年金) 1人
- ③家計が急変した者(①・②以外で収入の減少があった者)【見込み】5人+第2子以降 6人
- ④家計が急変した者(①または②に該当し、収入の減少があった者)【見込み】30人

### ○支給額

- 【基本給付】①・②・③の対象者…1世帯5万円、第2子以降1人につき3万円
- 【追加給付】④の対象者…1世帯5万円

### ○支給時期

- ①の対象者…8月下旬。申請不要
- ②・③・④の対象者…9月以降。申請が必要

### ○実施期間

令和2年8月1日から令和3年3月31日

### ○事業費

12,436千円(10/10国庫補助) ※母子家庭等対策総合支援事業費国庫補助金

## (9) 建築業応援！住宅の修繕・改修助成事業

事業費 10,000千円

【建設環境課】

### 【背景】

- ・新型コロナウイルスの影響で地域経済が低迷し、建築業者の売上高も減少している。（2割以上減少12社/23社⇒52%）

### 【目的】

- ・町民が安心して快適に暮らすための住環境の向上を図るとともに、建築工事の発注を促進し、地域経済の活性化に寄与する。

### 【実施方法】

- ・住宅の修繕・改修に要した経費の一部を、申請者（施主）に対し助成（工事費の10% 上限10万円/1件）
- ・助成対象工事の施工は、町内に本社を有する業者とする
- ・助成対象者は、町内在住者で町税等の滞納がない者

### 【事業費】 1,000万円

（内訳）10万円×100件 = 1,000万円



# (10) 医療・介護施設等事業継続支援事業

事業費：7,400千円 【すこやか健康課】

## 事業目的

新型コロナウイルス感染症による患者、利用者の減少で経営が悪化している。また、感染リスクの中、献身的に対応されている医療機関や介護施設等に従事する職員は、自分自身や家族が感染する可能性への不安、偏見などがあり、心身へのストレスは相当なものとなっている。

このような状況の中、町民の社会生活の維持のため尽力されている当該施設等へ今後も継続して事業を実施していただくために支援金を支給する。

## 事業内容

町内医療機関、介護施設等に支援として1施設あたり20万円を交付する。  
職員の福利厚生など国県の補助金等に該当しない部分に充てるものとする。

\* 令和2年7月1日を基準日として今後も医療、介護サービスを継続して実施する琴浦町内の医療機関、薬局、介護施設等

\* 休日急患診療所の運営費負担については、別途、ふるさと広域連合負担金を増額し支援

### (区分：医療機関等)

医療機関 17ヵ所 (医科11, 歯科6)

薬局 7ヵ所

### (区分：介護施設等)

介護施設等 8ヵ所

①申請書送付



琴浦町  
すこやか健康課

③申請書確認

④支援金の決定

⑤交付

医療機関等  
24ヵ所×200千円

介護施設等  
3施設×200千円  
5施設×400千円

\* 複数の事業を実施している法人等については各区分上限40万円とする。

# (11) 障がい者とともに！地域共生型プラスチック再生事業

～誰もが働ける地域共生社会・地域循環のしくみ～

事業費：1,203千円

【福祉あんしん課・建設環境課】

## 【目的】

コロナ禍により作業が減少した町内のB型事業所の利用者に対し、継続的・安定的な作業を提供することで地域共生社会の構築を推進する。

### 【参考】国県等の支援制度

- ・生産活動収入が減少しても工賃を支払う場合の支援（定額）
- ・生産活動の存続を下支えするための経費（10/10）

【委託先】 B型事業所（町内3事業所）

【実施方法】 ①店舗に設置された収集箱から軟質プラスチックを回収し、分庁舎に運搬  
②混入した異物（他の資源・ごみ）を分別

【設置場所】 アパート、Aコープ、トピア、トライアル

【事業費】 1,203千円

○収集委託（B型事業所）430千円  
8月～3月 16回/月：通常13回＋臨時3回

○収集箱改善 773千円

現在メッシュ式となっている収集箱を、感染症拡大防止及び悪臭等から生活環境を守るため、密閉可能かつ回収が容易なものへ変更する。（収集箱6台）

※別途、本年度予定している「まちなか図書館」で使用する本棚(木製)の制作などを委託予定

## 軟質プラスチック

### 袋類（♻️マークのあるもの）



### 容器類（♻️マークのあるもの）

※ラベル等ははがす必要はありません



収集箱イメージ

サイズ(cm): W95 × D45 × H113



# (12) 肉用牛肥育経営緊急支援事業

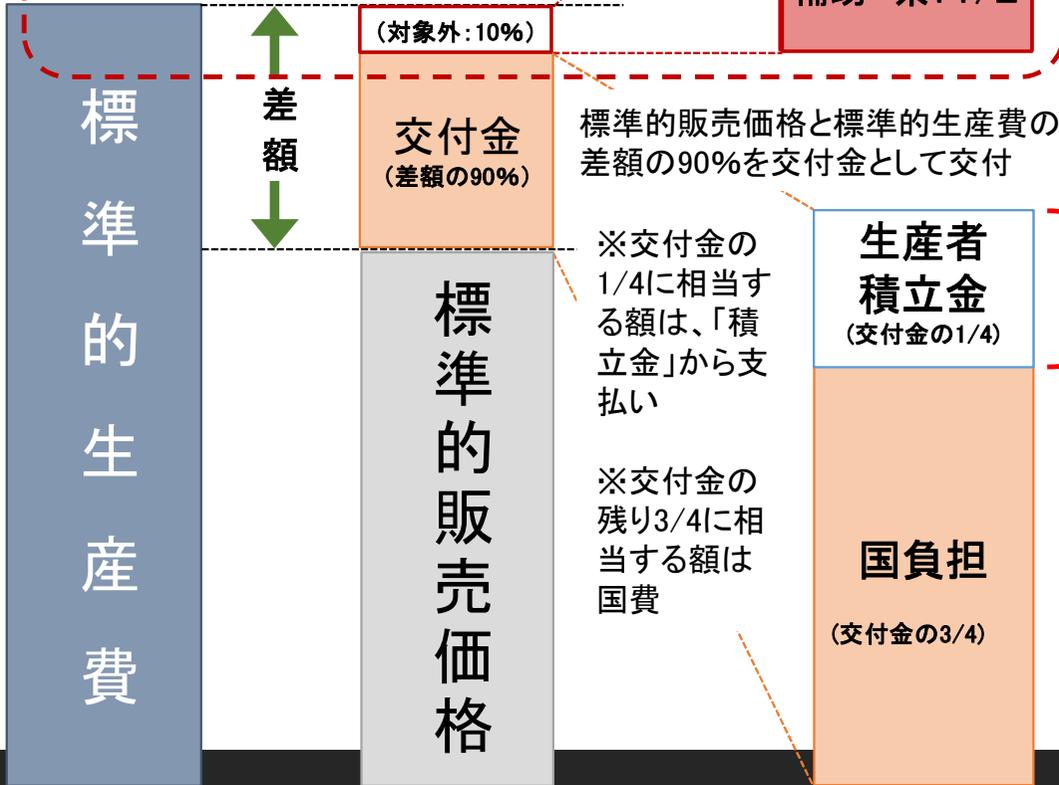
事業費: 18,416千円 【農林水産課】

## 第2弾: 肉用牛肥育経営緊急支援事業 事業費: 2,696千円増

県と町で交付金に上乗せ  
交付金対象外の7.5%を助成

枝肉価格の想定以上の下落により、差額(交付金対象外部分)が更に大きくなり、補助額が増加  
町補助額: 7,270千円 → 9,966千円 (+2,696千円)

対象外
補助 町: 1/4
補助 県: 1/2



## 第3弾: 肉用牛肥育経営安定特別対策事業 事業費: 15,720千円

### 【背景】

マルキンの発動  
回数の増加により、  
生産者積立金が  
大幅に増加  
↓

〔積立金単価(令和元年度)〕

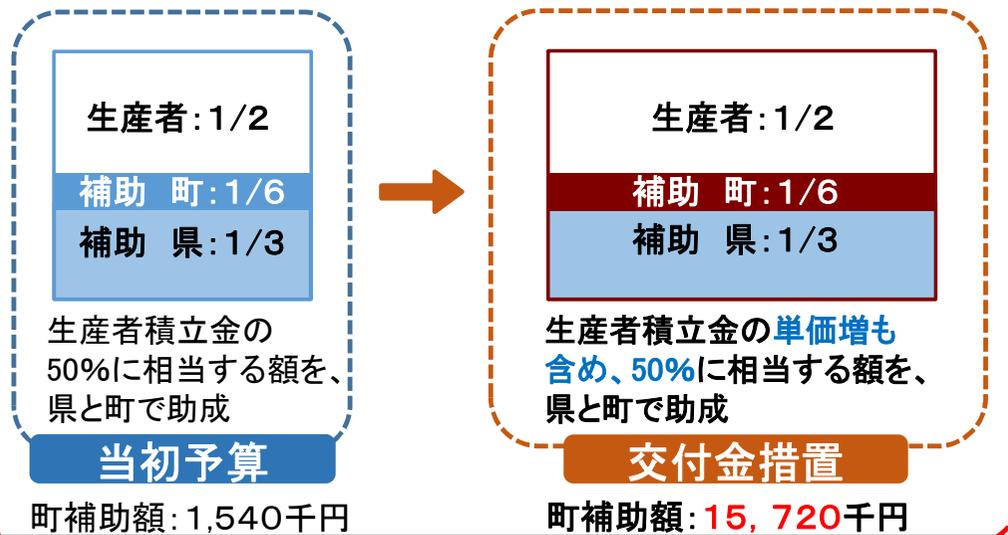
肉専用種	交雑種	乳用種
6,000円/頭	17,000円/頭	19,000円/頭

生産者の負担  
が更に増加

〔積立金単価(令和2年度)〕

肉専用種	交雑種	乳用種
70,000円/頭	20,000円/頭	19,000円/頭

【目的】 枝肉価格の下落に加えて負担増となった生産者積立金の一部を助成する。



# (15) 新事業創出応援事業

事業費：3,000千円 【商工観光課】

目的：新たに起業する町民及び新たな取り組みに挑戦する町内事業者ならびに県外事業者に対し、経費の一部を支援することにより、町内産業の活性化を図る。

## 起業支援事業 予算額：1,000千円

## 新分野進出事業 予算額：1,000千円

## オフィス移転支援事業 予算額：1,000千円

交付対象者	町内に住所を有する者
要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内に店舗及び事業所を設置し、通年で事業を行う者</li> <li>・創業計画策定にあたり、商工団体などの指導・支援を受けた者</li> <li>・町税等を完納している者</li> </ul>
補助対象経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地及び建物の取得、建築、賃借、改修等にかかる経費</li> <li>・設備の購入、賃借、改修、修繕経費</li> <li>・車両、工具または備品の購入、賃借経費</li> <li>・事業開始時の広告宣伝に係る経費等 ※賃借経費（令和2年度分まで）</li> </ul>
補助率等	対象経費の1/2（上限：500千円）
件数	2件

交付対象者	町内中小事業者等 （新型コロナウイルス感染拡大により売上高が減少している事業者）
要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取県「緊急応援補助金（経営危機克服型）」の「新分野への進出事業」の補助を受ける事業者</li> <li>・町税等を完納している事業者</li> </ul>
補助対象経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実現可能性調査、投資調査費、人材育成費、販路開拓費、設備導入費、固定費（賃料、光熱費等）</li> </ul>
補助率・上限	県補助の自己負担部分と上限超過部分を追加補助 <b>【県】</b> 補助率3/4（上限500千円、事業費666千円） <b>【町】</b> 補助率10/10（上限500千円） 県補助自己負担部分（166千円） 上限超過部分（334千円）
件数	2件

交付対象者	県外事業者
要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の空き家、空き店舗等を活用してオフィス移転を行う事業者</li> </ul>
補助対象経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地及び建物の取得、建築、賃借、改修等にかかる経費</li> <li>・設備の購入、賃借、改修、修繕経費</li> <li>・備品の購入、賃借経費等 ※賃借経費（令和2年度分まで）</li> </ul>
補助率・上限	対象経費の10/10（上限：1,000千円）
件数	1件

◎各事業毎に審査会を実施(町関係者・商工会・金融機関等)

# (16) 町民と考える持続可能な地域交通事業

事業費：4,120千円【企画政策課】

## 目的

- ① 町民が地域交通を自分ごとの課題ととらえて、持続可能な地域交通のしくみを考える
- ② 住民協議会の議論を通じて、再編計画を町民と行政とが一緒につくりあげる
- ③ ICTの活用など町民による共助交通のしくみを町内で拡げていく

### ■住民協議会の開催により町が期待すること

- ・ドライバー不足、バスやタクシーといった公共交通の縮小、町営バス経費の増大など現状の課題を町民と共有する。
- ・住民協議会の開催を通じて、参加者及び傍聴者に地域で助け合い交通に取り組む意識の醸成を図る。
- ・このことにより、特に昼間の移動に関して、主体的に共助交通に取り組む地域の活性化につなげる。

### ■住民協議会の実施方法

- ・参加者を無作為抽出とバス利用関係者(振興協議会、PTA、区長会など)の推薦で選定  
参加人数:無作為抽出20~25人、利用関係者5人、合計30人を想定
- ・住民同士により地域課題である交通を議論し、「個人」「地域」「行政」の関わりを考える。
- ・**最終的には再編計画に対し住民協議会での一定の結論を作成し、町に対して提案書を提出。**

### ■住民協議会の内容

- ・10/25 (事前研修)参加者に対し、意義と進め方を説明
- ・11/21 (第1回:事業レビュー)交通の現状把握と課題整理
- ・12月、2月(第2回、第3回)住民により議論
- ・3月(第4回)これまでの議論を踏まえ町に対し、**提案書**を作成

### ■予算

- ・委託費 4,000千円
- ・郵便代 100千円
- ・封筒作成 20千円

項目	R2年度 8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R3年度 4~7月	9~3月	R4年度 4月
ICT活用共助交通 実証実験(安田)		準備		実証実験		検証					
住民協議会 ※臨時交付金対象		募集・準備	事前研修	第1回 事業レビュー	第2回	第3回	第4回	町に対して提案			再編 スタート
再編計画策定 住民周知など								再編計画の検討・決定	準備、周知		

# (17) お外で遊ぼう！こども園遊具設置事業

事業費：4,300千円【子育て応援課】

## 【目的】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全国的に外出が自粛されてきた影響もあり、家で過ごすことが多かった子どもたちの外遊びへの欲求が高まっているが、園庭には遊具が少なく、老朽化している。

遊具を新設することにより、園児がおもいきり外遊びを行える環境を整備し園児の興味を外遊びへと向けることにより、3密を防ぎ感染防止を図る。

園庭遊具は、遊びながら、楽しみながら体づくりや運動機能を伸ばすことができるほか、友だちとの遊びを通してコミュニケーション能力を高めることにつながる。

【対象】 公立こども園：1園（ことうらこども園）

【事業費】 複合遊具新設：4,300,000円



コンビネーション KKS 組製

ことうらこども園設置遊具（案）

お外で思い切り遊びたいな...



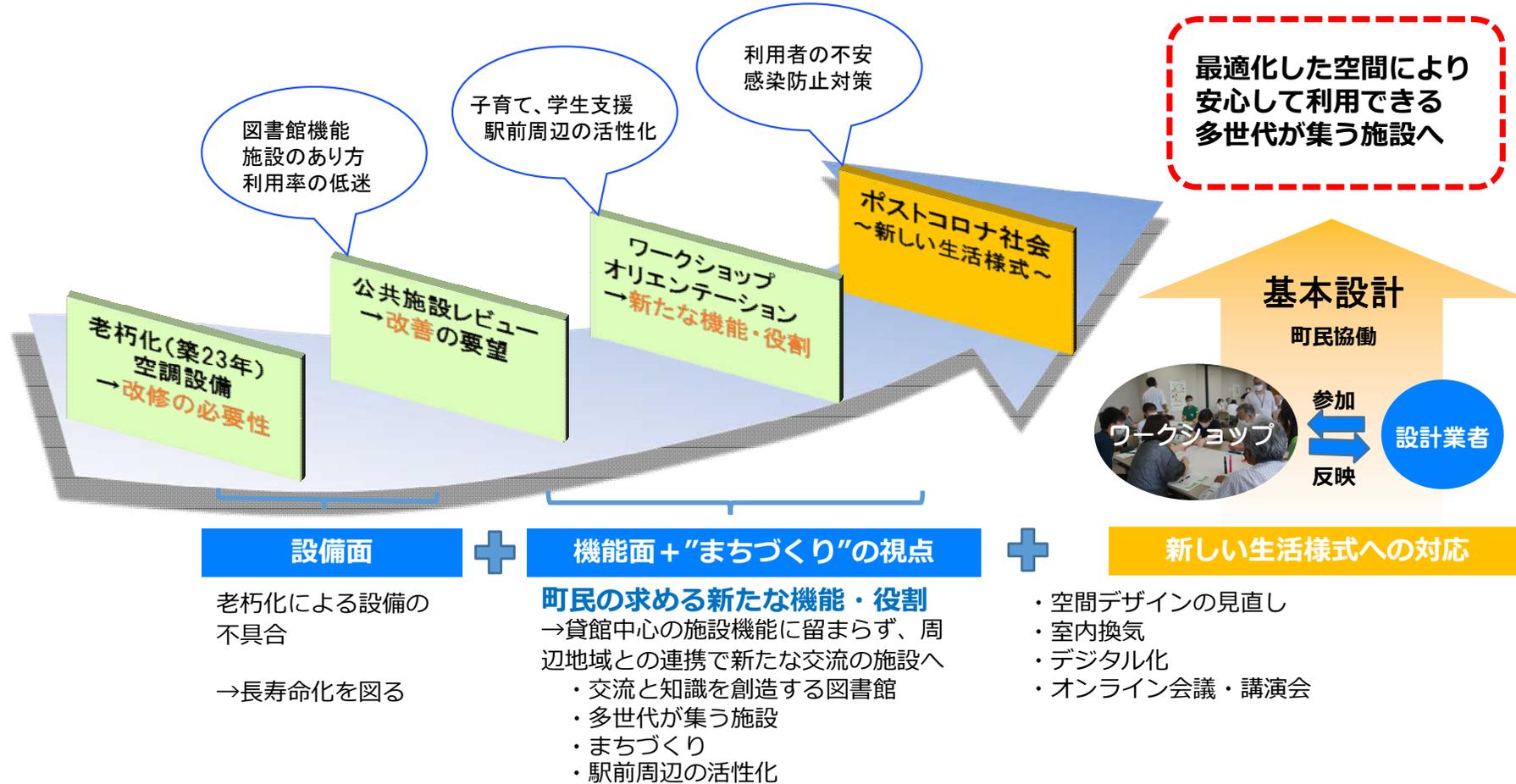
# (18) コロナ後の社会に対応したまなびタウンリニューアル事業

事業費：16,000千円

【社会教育課】

## 事業内容 まなびタウンリニューアルの基本設計

- 室内換気、パーテーション設置などに留まらず、空間デザインから見直すことで「新しい生活様式」が実践できる新たな公共施設・図書館として、施設・設備のリニューアルを進める。



# (19)GIGAスクール構想推進事業、(20)学校保健特別対策事業 事業費 9,980千円【教育総務課】

## ■ GIGAスクール構想推進事業ICT教育研修 **2,980千円**

生徒1人につき1台を導入するタブレット端末の有効的な活用を図るため、町内のICT推進教職員等による研究を支援するとともに、必要な環境整備を行います。

### ICT教育研修支援

ICT活用教育推進のため、教職員等を対象とした研修会や先進事例等の視察研究を支援します

### 中学校タブレット用充電保管庫整備

生徒用タブレット端末の充電保管庫を学級ごとに設置することで学校生活の中での活用利便性を高めます

## ■ 学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業 **7,000千円** (国1/2)

国の2次補正で新たに創設された補助金を活用し、遠隔授業などを見据えた必要な環境整備を行うとともに、感染症対策のための修繕や備品購入など環境整備を実施する。

### 学習保障支援

#### インターネット回線保守業務

オンライン授業を見据えて整備するインターネット専用回線の保守業務（～令和3年3月分）

#### デジタル周辺機器の整備

オンライン授業等にも対応できるよう、各種ケーブルやマイク、ヘッドセット等の周辺機器を整備

### 感染症対策等支援

#### 空き教室へのエアコン設置

空き教室などにエアコンを設置し、感染症予防のための教室分散に備える

#### 換気のための環境整備

換気のための網戸  
体育館や更衣室等にサーキュレーター  
飛沫防止のためのパーテーションその他消耗品等

# (21)こども園ICTシステム導入モデル事業

事業費：5,623千円【子育て応援課】

## 【目的と効果】

- 感染拡大防止のための登園自粛や行事の自粛により、タイムリーな保護者との連絡が行い辛い状況にある。ICTシステムの導入により、必要時に情報をスピーディーにやり取り可能となり、園と保護者とのコミュニケーションの向上を図ることができる。
- ICT化による事務や書類作成の効率化により、職員の業務改善が図られ、保育・教育の質向上に繋がる。
- ICT化により、登降園の受付が短縮され、3密を回避でき感染防止を図るとともに、登降園管理事務の効率化を図ることができる。

【モデル事業実施園】 しらとりこども園

## 【事業方法】

- しらとりこども園に、ICTシステムを導入。
- 保護者連絡、登降園管理、保育業務管理をシステムを利用して行う。

【事業費】 5,623千円

- システム整備委託料 5,416千円
- システム保守委託料（3ヶ月） 207千円

## ○システム内容（例）



# (22)公共施設Wi-Fi環境整備事業

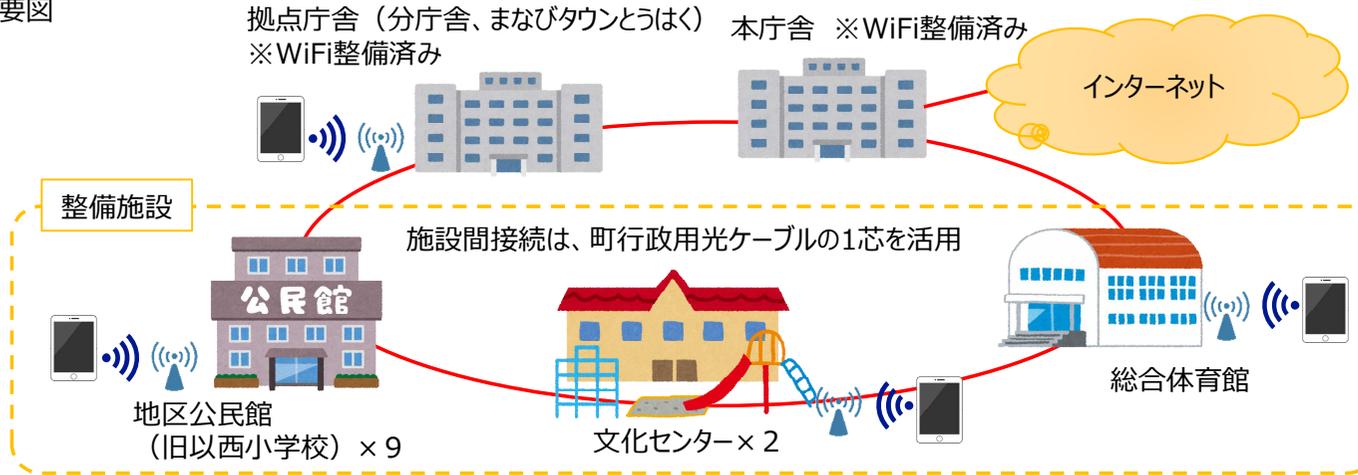
事業費：24,348千円

【総務課】

## 目的

1. 避難生活を送る避難所にWi-Fi環境を構築することで、感染症や災害情報の発信及び受信手段を確保し、感染症や災害に強い防災拠点の整備を行います。
2. 住民（避難者等）への利用を開放するほか、避難所運営においては、タブレット等の情報端末からインターネットへ接続、オンラインWeb会議システム等のクラウドサービスの活用により、情報伝達の迅速化を図ります。

## 事業概要図



## 整備内容

- 主要施設（12施設）Wi-Fi整備 21,800千円（ランニングコスト1,000千円/年）  
【アクセスポイント設置計画】
- ・総合体育館、文化センター ⇒ 1基×3施設=3基
- ・地区公民館（旧以西小学校） ⇒ 2基×9施設=18基
- ・以西地区は旧以西小学校内に地域振興協議会が設置されているほか、以西地区公民館の機能移転が検討されているため、以西地区公民館に替えて旧以西小学校を整備。
- ・旧以西小学校には、行政用光ケーブルの引き込みがないため、役場本庁舎との接続をNTT回線で代用し、以西地区公民館の機能を移転する際に行政用光ケーブルも移設しNTT回線からの切替を行う  
本庁舎-旧以西小学校接続通信料 48千円（ランニングコスト96千円/年）
- オンライン会議システム（初期・ライセンス） 500千円（ランニングコスト500千円/年）
- タブレット ⇒ 15台（各課1台増） 2,000千円

## Wi-Fi活用

- ・オンライン会議システムを使用した災害対策本部と避難所の情報伝達、指示迅速化
- ・施設間の同時多元中継が実現
- ・住民へのWiFi利用開放
- ・休校時、最寄りの地区公民館でオンライン会議システムを利用した遠隔授業の開催（生徒・児童の分散化）
- ・会議、行事の遠隔開催（分散開催、外部参加含む）

# (23) ICタグ導入によるスマート図書館整備事業 事業費：64,350千円 【社会教育課】

**【目的】**

新しい生活様式で求められるソーシャルディスタンス、3密回避の取組を行うとともに、図書館業務をスマート化することにより図書館サービスを充実させる。

**【方法】**

- 図書カード・蔵書にICタグ設置
- 貸出機設置
- 入退館ゲート設置
- システム更新



**【期待される効果】**

- 人との接触を減らし、図書の貸出、返却を可能にする。  
→貸出・返却作業の省力化、レファレンス業務の充実へ  
感染リスクの低減  
プライバシーの保護
- 利用スペースを図書館外にも広げ、3密回避を実現する。
- 本を配架したまま非接触で蔵書点検  
→蔵書点検作業の効率アップ、開館日の増加

**【設置図書】**

本館：150,000冊  
分館：36,300冊

**【事業費】**

64,350千円

## (24)新型コロナウイルスから考える人権教育・啓発事業

事業費：200千円【人権・同和教育課】

<p>人権・同和教育部落(小地域)懇談会実施に向けての課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の拡大により、毎年部落単位で行っている人権・同和教育部落(小地域)懇談会がこれまでのワークショップ形式では実施できない可能性がある。</li> <li>・人権の視点で町づくりを進めていくためには、日々の生活の中で人権について意識していただく必要があるため、取組みを継続していく。</li> <li>・コロナ差別に限らず、普段の生活の中で様々な噂話やデマを見聞きする機会が多くある。得た情報を鵜呑みにして偏見や差別に加担してしまわないよう、気づける力を養う。</li> <li>・番組周知やアンケート回収を通して各部落の人権教育推進員の役割を再意識していただく。</li> </ul>
<p>テーマ</p>	<p>・コロナ禍における人権を考える(仮)</p>
<p>時期</p>	<p>・琴浦町部落解放週間(12月4日～10日)</p>
<p>どのように</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月にTCCで放送した3町合同で作成した番組へ追加映像を加え、番組(教材)を作成。</li> <li>・全戸へ資料とアンケートを配布し(HPへも掲載)、記入されたアンケートを各部落の推進員が回収する。</li> </ul>
<p>放映方法</p>	<p>・TCCにて放映(約15分)、各町のニュース後など。</p>
<p>費用</p>	<p>・番組編集、放映料等 100千円</p> <p>・講師謝金 100千円 (大東文化大学 一盛教授)</p> <p style="text-align: right;"><u>合計200千円</u></p>

# (25)ことうら「旅」と「食」魅力発信プロジェクト

事業費：60,000千円

【商工観光課・企画政策課】

## 事業概要

琴浦町の観光名所や豊かな「食」を町内外へ発信するため、集英社及び扶桑社とタッグを組み、雑誌・オンライン等のメディアを活用した情報発信や、地元の観光地や食材を活用した商品開発を行い琴浦町のPRに繋げる。

## 内容

【旅】集英社発行の雑誌とコラボレーションし、読者モデルなどが琴浦をめぐる女子旅メニューを開発。雑誌への掲載や特設サイト・SNSなどによる情報発信を行い、アフターコロナに向けた着地型観光メニューとする。

【食】扶桑社メディア連載企画として、一流料理家を登用し、琴浦産品を活用した“ことうらならではの”の四季のレシピ開発を行う。  
町内での食材探しや商品開発の様子などに密着し、年間を通してメディアで発信する。また、完成した際には地元飲食店や給食メニュー、ふるさと納税返礼品として提供することで琴浦町のファン増加に繋げる。

## 予算

委託料 60,000千円



## ▼スケジュールイメージ



# (26) コロナ後の観光振興事業

事業費：22,250千円 【商工観光課】

目的：新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、県内観光の推進を図るとともに、収束後を見据え、段階的な県外誘客を図るほか、ブランド化に向けた取り組みや観光看板の修繕を行う。  
また、夏祭りが開催できない中、コロナの終息を願い、花火の打ち上げを計画する。

<p><b>鳥取中部観光推進機構負担金</b></p> <p style="text-align: right;">1,500千円</p>	<p>●3町連携グルメキャンペーン 200千円  <b>内容</b>                  琴浦・北栄・湯梨浜の3町を対象としたグルメキャンペーン(3町の飲食店を巡るスタンプラリー)を実施。賞品として各町特産品をプレゼントする。(期間 8月～11月)</p> <p>●おでかけ応援キャンペーン 1,300千円  <b>内容</b>                  県外からの宿泊客のうちアンケートに協力いただいた方に対し、中部地区(1市4町)の店舗で使用できる1組5枚(5,000円)のクーポンを抽選で100組にプレゼントする。(期間 9月～12月)</p>
<p><b>観光協会への補助金</b></p> <p style="text-align: right;">4,000千円</p>	<p>●花火の打ち上げ 2,000千円  <b>内容</b>                  新型コロナ感染症終息への願いを込め、また町民を元気づけるため、赤碕新港沖の防波堤で花火を打ち上げる。人が集まらないよう工夫し、短時間での実施とする。</p> <p>●観光パンフレットの発行 2,000千円  <b>内容</b>                  新型コロナ感染症収束後の観光需要を見据え、観光パンフレットを刷新する。あわせて、新たに統一のコンセプトで、グルメなどの分野ごとに特化したパンフレットを作成する。</p>
<p><b>プロモーション及び基盤整備</b></p> <p style="text-align: right;">16,750千円</p>	<p>●プロモーション経費 6,750千円  <b>内容</b>                  町のブランド化を推進するため、琴浦バスのラッピングや、プロモーションビデオの制作、プロモーション用品の製作を行う。</p> <p>●観光看板の改装 10,000千円  <b>内容</b>                  既存観光看板等の老朽化に伴い、更新を行う。                  [山陰道沿い大型看板、道の駅ポート赤碕内看板、道の駅琴の浦]</p>